

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所・小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホームつつじⅢ 第二ユニット	評価実施年月日	平成20年4月～平成20年12月
評価実施構成員氏名	今 由紀 河津 亜沙美 小出 さち 高橋 恵 小森 美里 西村 久子		
記録者氏名	今 由紀	記録年月日	平成21年2月15日

北海道

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>ご利用者様の心身の特性を踏まえて、家庭的な環境の下で入浴、排泄、食事等の介護、その他の日常生活上の世話、及び日常生活訓練を行うことにより、ご利用者様がその有する能力に応じ、自立した生活を営むことができるよう支援する。</p>		<p>市内の美容室や病院、スーパーに出かけています。これからも理念を大切に、やっていきたいと思いをします。</p>
<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>社内研修で理念の内容を確認して、日々の生活の中で取り組んでいます。</p>		<p>事業所の理念を理解し、これからも日々の介護に従事していきたいと思いをします。家庭的な雰囲気味わってもらい、家事を通して、自分でできることを多くしていただけるよう心掛けています。</p>
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。</p>	<p>事業所内に数ヶ所、掲示しています。老人クラブ、町内の祭り等集まりに参加し、自分たちが今まで暮らした地域で生活が続けていける自分の思いが尊重されるホームである事を伝えています。</p>		<p>ご家族や来客者等にわかるよう、理念を掲示することで目にしてもらい、理解していただけるような機会を作っています。</p>
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>ご近所の方、面会の方にご挨拶させてもらっています。</p>		<p>近隣の方には会った際は、挨拶し交流を持てるよう継続に努めていきたいです。</p>
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>夏祭りやイベント等で地域との交流を図る機会を作っています。小学校の学芸会や運動会の行事に声をかけて頂いています。母の日や、クリスマスには手作りのカードを作って、小学生が来てくれています。</p>		<p>地域の方にも参加をして頂ける敬老会、音楽会等のイベントを開催しています。交流できる機会がもっと増えたらよいと思いをします。</p>
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>花壇作りや畑の手入れなどNPOの方にお手伝いの協力を得ています。</p>		<p>地域の高齢者の暮らしに役立てるよう、話し合いや交流を持ち、取り組んでいけたらよいと思いをします。花や畑作りにも声をかけてみたいと思いをします。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>自己評価・外部評価を行い、グループホームの質の向上を目指し、具体的な改善があれば取り組んでいます。</p>		改善すべき点はホームの目標としてとらえ、これからも年一度自己評価、及び外部評価を行い、改善点がある時は、職員全員で取り組んでいきたいです。
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>運営推進会議を定期的(2ヶ月に1回)に話し合いを行っている。ご家族、ご利用者様の方、地域の方に意見を伺っています。</p>		これからも定期的に行い、話し合い、サービスの向上につながるようにしたいです。ご利用者様の参加も確保していきたいと思います。
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>毎年、地域のふれあいフェスタに参加しています。</p>		市町村と他の施設の方とホームをオープンにし、共にサービスの質を向上できるよう話し合いなどを行い、取り組んでいきたいと思います。
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>社内研修などで学ぶ機会を持ち、話し合いをし、必要な時は支援できるようにと思えます。</p>		成年後見人制度を導入されたご利用者様がおられましたので、社内研修等で学ぶ機会を持てたらと考えています。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>社内研修などで高齢者虐待防止について学び、日々の中で注意し、防止に努めています。</p>		定期的に高齢者虐待防止について学び、理解し、防止に努めて、人として大切にしていきたいと思っています。道主催の実践者研修にも、全員参加できるようにしたいと思います。
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>契約の前後に、ご家族と話し合っています。契約時にも、契約書を読み合わせ、十分確認するようお話しています。</p>		重要事項説明書に掲示しています。今後も理解が得られるように行っていきたいと思っています。いつでも、疑問、質問があれば伺うよう声をかけています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご利用者様と話す機会を設けて、その方の思いを伺い、できるだけお気持ちに添えるように思います。		お部屋に伺ったり、事務所や相談室でお茶を飲みながら話す機会を作っています。これからもご利用者様からのお話しは、個別に伺っていきたいと思います。
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	定期的に文面や電話にてご利用者様の様子や金銭面、健康状態などの報告をしています。		面会時や遠方の方には電話や、お手紙で定期的にご利用者様の様子等わかるように報告をしていきます。
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会などに来られた際に、ご意見等があれば速やかに対応したいと思います。職員から「何かございますか」と聞くように心掛けております。		ご意見、ご要望等があれば、お気づきの時にいつでも話して頂けるようお願いしています。
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員の意見があれば、反映できたらと思います。定期的に研修会を持ち、職員も交替で課題に取り組んでもらっています。意見が反映出来るよう、研修後にレポートを提出し、確認しています。		より良いサービスを提供する為に、意見や提案を話す機会を継続させて行きたいと思います。
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	体調に心配がある際は、応援の体制があります。		その時の状況に合わせ、必要な時間帯に職員を確保する為、職員のヘルプや、調整等行っています。
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	異動の際は、ご利用者様の心境に配慮し、不安がなくなるよう心掛けます。		ご利用者様のお話しをゆっくり伺い、お気持ちに配慮します。フロアの交流の時間も作り、職員、ご利用者様が馴染みの関係を作れるようにしています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	社内研修(月1回)や社外研修等、積極的に参加しています。年数に応じた資格の取得もすすめています。	これから定期的に社内・社外研修の機会を設け、資格取得を目指していきたいです。すでに有資格者が教材や、質問に答える時、協力しています。
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	社外研修等に参加したり、手稲区、札幌市のグループホームの集まりに参加しています。	参加の際にホーム内の疑問や、参考にすべき点等、今後も交流、意見交換等行いサービスの質を向上させていける機会を今より増やせたらよいと思います。
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	話す機会を増やし、コミュニケーションをよく取っています。職員から話しかけられたり、いつもと違った様子等、気付いた時に、声をかけています。	何でも話せる関係を築き、ストレスをためずに仕事ができるよう工夫をしていきたいです。個別に対応しています。私的な事、仕事等、負担が少なくなるよう、時間を作っています。
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	職員の持っているものを発揮できるようにと思っています。個人の得意としている面を評価しています。内面的な事や仕事量等、比較せず見るよう努めてくれています。	日々の仕事の中で努力している事を評価してくれています。その評価をもらった事で各自が働く力になっています。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	話し合いを行う事で少しずつ信頼関係を築き、受けとめられるよう心掛けています。食欲や表情、話し方等からいつもと違う状況を確認しています。居室で話すよう心掛け、不安な事が何かお聞きしています。	ご本人の状況を把握し、場所を変えたり、人を入れ替える等、安心できる状況を作るよう配慮しています。
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	ご家族の心情をよく伺いたいと思います。3年が過ぎ、ご家族の方との信頼関係もよい方向へいっていると思っています。	お会いした時に「何かありましたら、何でもおっしゃって下さい」と伝えています。気軽に話せる環境でありたいと思います。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	都度、ご本人とご家族のお話を伺いお気持ちに添えるようにと思っています。自分達で解決できる事が専門家として相談すべきか見極め、取り組んでいます。		ご利用者様、ご家族の不安を取り除く事が第一と考え、「どうありがたいか」を伺っています。具体的解決策を示し、同意を得ながら、取り組んでいます。今度もお話を伺い、必要としている事柄を知り、サービスの利用等も含め、考えてそのご家族とご本人に合った対応をしていきたいと思ます。
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	事前に話し合いや見学をして頂いています。ご本人の要望やご家族のお気持ちを考えながらと心掛けています。		ゆっくり見学して頂き、ご本人が安心できるようにと考えています。何度か見学、体験等ご希望に合わせて行っています。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	ご利用者様と一緒に過ごし、家庭的な事や人としてについて学んでいけたらと思います。家事等は人生の先輩として教えてもらうという姿勢で接しています。		一緒に行いご利用者様から学ばせてもらい、出来ない所はお手伝いさせてもらっています。場面ごと「すごい」「そうですか」とこちらの気持ちを伝えて、共によい関係を築けるようにと考えています。
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	日々の様子や心理面等をまずご家族に報告し、共有しています。ご家族からの提案も聞かせてもらい支えています。		小さな出来事もご家族に伝え、入居前の生活の中にヒントがないか情報交換等行い、ご利用者様を支えていけるような関係を続けていきたいと思います。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	ご利用者様がご家族のことを心配したり、気遣ったりしていることをお話しています。ご本人やご家族とよく話して、ご本人を支えられるよう努めています。ご家族の方を想っていることを一番に伝えています。		ここに来る以前のご本人様ご家族のより良い関係が維持できるように、言葉を選んでお伝えしていきたいと思います。
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご親戚やご友人が遊びに来て下さいます。近所の美容室に行っています。お寺から命日にお参りがあります。		面会や手紙などご本人と馴染みの方との関係を出来るだけ、支援するように努めています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	仲間作りが不得意な方には、職員が関わる時間を多く持つよう心掛けています。一緒に何かをしたり、ゆっくりとお話しをしています。		「楽しい」と思っている事は何かを見つけています。個別性を大切に、関わっていききたいです。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	退所となった時、必ず「近くまで来たら寄って下さい」と声をかけています。立ち寄って下さるご家族がいて、お茶を飲んでお話を聞いている。		迷惑にならない程度にご利用者様やご家族との関係を断ち切らない付き合いを大切にしていきたいです。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	サービス計画を立てる際、ご利用者様やご家族の方に思いや今後の希望を伺っています。お答えのない時は食事や、レクリエーション等、具体的に示し、返事を引き出すようにしています。日常生活を送る上でも、ご利用者様の希望を伺っています。		ご利用者様の希望や意向に反しないように、無理強いせずに今後も関わっていききたいです。話しやすい場を作り、思いを探します。決めかねる時はご家族に情報もらっています。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	お一人お一人の生活歴など、情報収集し、アセスメントを行い、個人記録とし、把握をしています。社内研修時に他階のスタッフにも伝達し、共有しています。		ご自身から直接伺うことにしています。ご家族の方の情報と合わせ確認しています。個人記録と日々の生活の場面を把握し、その方に合った関わり方をしていきたいです。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	日々、毎日お一人お一人の過ごし方を記録し、心身状態、行動面を把握するよう努めています。		生活の中で起きた事の情報交換を続け、少しの変化が拡大しないように努めていきます。ご家族や主治医へ相談も視野に入れてます。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	定期的モニタリングを開き、意見交換を行い、ご利用者様が今後、より良く暮らす事の出来るように話し合いを行っています。		ケアプランを作成前に予め、ご家族に意向を伺っています。作成後は内容を説明させて頂き、ご意見を伺うようにしています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	期間に応じて、ご本人やご家族の方に今後の意向や希望を伺い、介護計画を見直しています。変化が生じたときはケアマネージャーと共に、ご本人、ご家族に今の状況と以前との違いを示し、どこの部分を見直すべきか話しています。		現時点で出来る目標の計画書を目指し、無理のない計画書にしたいと思います。今後も、ご本人やご家族の希望を伺い、それを尊重し、現状に合った介護計画の見直しを行なっていきたいです。
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	ご利用者様の日々の様子をチャートや送りに記録し、それを毎日他スタッフ、及び夜勤者が読み、情報共有をしています。		夜勤帯からの送りを連絡ノートに日々、記録し、職員全てが把握できるようにしています。記録と送りの両面から、日々の観察、記録を詳しく記していきたいです。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	美容室や受診の同行、買物を行っています。ご家族の方の状況、その時の要望に応じて支援をしています。		ご家族の方の時間に無理のない程度にご協力いただき、今後もその方に合った様々な支援をしていきたいです。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	近くにある小学校の生徒と運動会や学習発表会を通じて交流したり、ボランティア活動として、茶道の先生や書道の先生、カラオケの先生等が来てくださり、色々な機関と協力しながら支援しています。消防訓練も行っています。		今後も地域資源を大切に、ご本人様の希望を伺いながら、ボランティア活動に参加して頂いたり、消防訓練を続けていきたいです。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	手稲のグループホーム協議会で会う機会があります。ご本人の意向や必要性に応じて地域の方にご協力頂いています。		今後もご利用者様がよりよく暮らし続けられるようにと思っています。入居相談、生活に対する疑問、レクリエーション、ボランティア活動等、具体的な情報を交換するようにします。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	2ヶ月に1回、推進委員会のお知らせをして参加して下さっています。		2ヶ月間の生活を報告し、意見をもらっています。ご利用者様の参加もあり、生活の場としての評価もいただいています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援をしている。	受診した時など日常生活、体調の事やお伝えし、少しでも疑問に思ったこと等は相談しています。		ご家族に相談し、受診しています。臨時受診の指示や頓服薬の処方、他科受診等、具体的な相談に応じて来ています。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	定期的にかかりつけ医のいる病院に受診し、診断してもらい、日頃の様子を伝えたり、相談したりしています。		かかりつけ医に受診し、必要時には専門医を紹介して下さいます。検査、薬等の変更等の相談ができます。
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	かかりつけ医がいて、外来看護師に相談しています。		変化があれば相談しているので、続けていきたいです。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	病院、ご家族などに連絡し、入院後、病院相談員を通し状況を伺っています。入院期間の延期や、退院の日取り等細かく情報が入るようになっています。		入院中、退院後も相談員等、協力体制にあります。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	状況に応じ、ご利用者様にあった機関の利用ができるよう支援しています。		病院、ご本人様、ご家族と相談しながら対応していきたいと思います。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	かかりつけ医の指示を頂き、ご家族の意向を確認し対応しています。		救急車要請、病院同行、状況説明、フェースシート等、ご家族がいらっしやる迄付き添いを行っています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>49 ○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>今この生活状況、日頃の様子、体調、毎日の習慣、好み、睡眠時間、排泄パターン等、具体的に伝えていきます。特に職員と関わりが多い方、仲間作りの出来ない方等、十分配慮が必要であることを伝えていきます。</p>		<p>住むところ、環境が変わるといことは、ご利用者様にとって不安に思うことがあると思うので、新しい環境の利点など、わかる範囲で伝え安心していただくよう心掛けています。</p>
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>50 ○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>言葉を選び、話しかけていますが、不快な思いをさせてしまう事のないよう心掛けています。</p>		<p>誰でも言われたくないことや、対応があると思うので、ご利用者様お一人お一人を理解し、自分ひとりだけではなく、職員全員で年上の方と接することを忘れないようにしています。特に言葉は、確認をとってから、動作に移るようにし、記録も日頃から「させていただく」という姿勢で支援しています。</p>
<p>51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>日頃から好みや生活パターンを把握し、無理なく出来ることをすすめています。ご本人が不安にならないよう安心した暮らしになるように支援しています。</p>		<p>今後もご本人の気持ちを尊重しながら、支援していきたいと思えます。</p>
<p>52 ○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>できるだけその人らしく、暮らせるように努めています。ご家族と時間を多く取りたい方、ご友人と手紙の交換を望んでいる方、主治医への面会を希望されている方等、ご利用者様が安心できる方向を重視しています。</p>		<p>お一人お一人の生活習慣をふまえた生活が送れるようにと思っています。</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53 ○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>ご家族と一緒に美容室に行ったり、職員と近くの理美容室に定期的に行っています。</p>		<p>以前から化粧をしているご利用者様には、今迄通りしていただき、服装、髪のはきはき、声掛けし整えてもらっています。</p>
<p>54 ○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>医師から食事制限、糖分、塩分を控える等言われていない方には、好みを聞き、職員と一緒に盛り付け、配膳、食事をした後、片付け、食器拭きをして頂いています。</p>		<p>食事の工夫、食事の場所を変える、月2～3回他階の方と一緒に食事する等行っています。季節の行事食にも意見を聞き、一緒に作っています。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	健康面に配慮し、又都度飲み物や味の希望を伺うことを行い、お一人お一人の状況にあわせて支援しています。		今迄同様、希望を伺い好みの味で提供するよう心掛けます。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	お一人お一人のパターンを記録し、活かす支援をしています。トイレで自然排泄ができるよう心掛け、援助を必要とする方は、排泄シグナルをキャッチするようにしています。失敗時は、負担が少ないよう、パットを併用する事も行っています。		職員が情報交換を行い、気持ち良く生活できるよう支援します。排泄がトイレで行えるようパターンを共有していきます。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	午前、午後と入浴時間を変則的に行っています。希望に合わせて入浴を楽しめるよう支援しています。		体調や心理面を考えた声掛けをしながら、ご自分のペースで入浴できるように心掛けています。少しでもご自分で出来ることを見つけ、続けられるよう支援しています。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	その時々に応じて、安心して過ごされるよう支援しています。自室でテレビを観たり、本を読んだり、他者の部屋を訪問する等、時々に合わせて過ごして頂いています。		個々の時間を大切に、安心して過ごせるよう今まで同様、気持ちの良い環境を提供したいと思っています。季節や外気温に合った衣類や寝具が整っているか都度、気配りをしています。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	生活の中に張りができるように支援しています。ボランティアの方々の協力もいただき、個々に対応できるよう、書道、茶道、歌等楽しんで頂いています。		それぞれに合った活動ができるよう、職員で協力し合い、支援しています。お一人で本を読んだり、ゲームを楽しむ方等、職員が好みを共有しています。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご自分でお金を持っている方もいらっしゃいます。歯ブラシ、スリッパ等要望に合わせて、お預かりしているお小遣いより購入しています。		要望の際に買物に出かけています。近くにお店がない為、少し足を伸ばし行けたらと思っています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	暖かい時は、草花を見たり、畑に出かけます。年に2回、お弁当を作り、近隣に出かけています。		お一人お一人の希望を伺い、少しでも戸外へ出掛ける時間を作れるよう支援したいと思います。
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	ご家族と共にでかけられる方もおります。近隣に出掛ける際、近く山や海に立ち寄る事もあります。		職員や馴染みの方と散歩したり、暖かい時はひなたぼっこをしています。ご近所の庭を見せてもらったり、秋は木の実を拾って楽しみます。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	ご家族等へ手紙や電話のやり取りができるよう支援しています。		ご本人様からの希望の下、電話や手紙のやり取りができるよう支援していきたいと思います。
64 ○家族や馴染みの方の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの方たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	いつでも立ち寄れるような雰囲気に関心掛けています。スタッフにも気軽に話して頂けるようにと思っています。		ご友人よく見えています。ホームの行事の際は、食事作りに参加されています。
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止推進委員会を定期的開催し、又社内研修等で内容を勉強しています。		今後も尊厳を重視していきたいと思います。職員が実践者研修を受講できるよう心掛けています。
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	居室へ鍵をかけることはありません。夜は遅番が帰る時間に施錠しています。		デイサービスと玄関を共有しています。ご利用者様の状況により、施錠する事があります。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	ご利用者様お一人おひとりの状況を把握する為、日々の様子や変化を申し送りや、送りノートを職員間で共有しています。いつもと違った様子がみられる時は、そばにいる時間を多くとるよう心掛けています。		前日の記録を読む事を含め、口頭での送り、今後も引きつぎをしっかりと行っていきます。
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	お一人おひとりの状態に応じて、予めご家族に話し、注意の必要な刃物、消毒薬、洗剤、お薬等の物品を管理、使用できるよう取り組んでいます。		今後も刃物類等、一日の使用終了時には、安全に保管していきたく思います。
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	ご利用者様の体調、様子を把握して、社内研修等での、室内靴、食事の形態、薬の管理等、個々に確認し、IHコンロの正しい取り扱い方等の知識を持ち、日常に活かせるように努めています。		転倒や誤薬、火災等防止の為、定期的に研修し、知識の向上に務めていきます。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	定期的な研修を行い知識を学んでいます。		救急対応、感染症の取扱い方法など、色々な対応が出来るよう訓練を行い知識を学びたいと思います。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	週に1回、避難訓練等をご利用者様全員と行い身につけられるように心掛けています。隣接の病院に協力が得られるようお伝えしています。		日頃より定期的な訓練を行い避難方法を身につけており、継続していきます。
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	小さな事でもその都度、ご家族と話し合い快適な暮らしをしていただけるよう取り組んでいます。		起こり得ることについて、説明させて頂いたり、変化についても早めにお伝えしています。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	起床時、朝の身支度、食欲、歩行状態等を把握し、バイタルチェックしています。顔色の変化や何か訴えがあったり、いつもと違った様子があれば、速やかに対応しています。		安定時のパターンをとらえ、職員同士情報を交換し、普段との違いに注目しています。
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	職員が処方されたお薬を確認し、個別に保管しています。病院の指示通りの服薬援助することと共に服薬後の変化の留意に努めています。副作用や注意事項を把握する為、処方箋のコピーをフロアで確認しています。		服薬の支援を安全にしていきたいと思います。手渡しで行いますが、名前、時間を声に出し、復唱し間違いのないように、個人に名前を確認してもらう事もあります。
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	十分な水分摂取をしてもらい、1日の摂取量を記録しています。繊維質のある食事の提供や毎日体操や散歩する等しています。また排便の有無を排便チェック表に記録しています。		下肢の筋力低下を予防するとともに、毎日歩行を取り入れたり、テレビ体操をする等働きかけを続けていきたいと思います。
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	食後に歯磨きをすすめています。磨き方に問題はありますが、口の中がきれいになっています。磨き残しや不足分があれば、お手伝いし、歯磨きの習慣ができるよう、清潔が保てるよう心掛けています。		歯磨きの習慣ができています。口腔内をきれいにすることが、健康維持の効果も見直され、感染症の予防にもつなげたいと思います。
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	栄養士のアドバイスの下、野菜中心のメニューが提供されています。ご利用者様の食事量や水分量を把握し、記録し、カロリー調整や塩分、糖分を控える等体調に合わせた食事の提供をしています。		主治医からの指示があり、カロリー制限がある方も、味の強弱が感じられるようなメニューの工夫を続けていきたいと思います。
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	年に一度、ご利用者様に限らず、職員もインフルエンザの予防接種を行っています。ノロウイルス対策は床や手すり等、毎日消毒しています。また、早急に汚物処理を行う外出や病院受診の際は、マスクを着用し、手洗いをしています。		職員が感染症に対する知識を深めて予防に努めていくことが必要だと感じています。来客の方にも手洗いをしていただき、持ち込まないようにしています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	週に1度の冷蔵庫整理を行っています。使用后、調理用具に汚れがある時は随時、消毒、記録しています。食材は十分に加熱し、布巾、スポンジ、たわし等はこまめに取り替え、漂白しています。	○	調理台や床も毎日掃除しています。今度も徹底して行っていきたいと思っています。定期的に消毒の日が設けられています。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	玄関や建物周囲を整備し、掃除を行い、花や装飾品等の工夫をしています。いつでも訪問して頂けるように、明るい雰囲気になるように努めています。	○	近隣の方々や、地域の方々との交流が少しずつ深まっていけたらと思います。月の行事を知らせ、音楽会等お誘いしています。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	中庭から空を見上げることができ、光が沢山射込まれ、建物内部はとても明るい雰囲気になっていますが、直接陽が入るのを避けられるようになっています。テレビを止めて、CDで音楽を聴く時間もあります。	○	その人らしく過ごせるように、ソファや食卓用いす、ベンチ等、気分に合わせて自由に座る工夫ができています。キッチンに立っているご利用者様の方や、職員の姿がいつでも見られます。焼き物、煮物の香りがすぐ届きます。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ご利用者様が集まって、ゆっくりとくつろげるソファや食事が楽しめる食卓テーブルがあります。歩行中、疲れてた時はベンチ椅子に座り、休んだり、お茶を楽しんだりでき、又、談話するなど思い思いに過ごせています。	○	ご自分のフロアから、他階へ訪問し、他者と談話したり、お茶を楽しんだりできるような機会を今度も設けていきたいです。
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室には、快適に過ごせる様、ベッド、タンス、テレビ等の家具や鏡、化粧品、ご家族の写真といった以前の生活に少しでも近づけるような馴染みのあるものを置く等、ご自分らしく過ごせるお部屋です。	○	居室だけではなく、昔を思い出せるようなものを共用空間においています。日めくりカレンダー、はたき、ホーキ、チリトリ等、日頃使っています。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	定期的に換気を行い、体調や季節に合った温度、湿度を保っています。直接、外気に当たらない様にしていきます。換気は消灯になってから、3時間おきくらいに空気の入れ替えを行っています。	○	共用空間に限らず、居室、フロア内の掃除、換気を必要に応じて行っています。加湿器は午前、午後、目盛を確かめ、冬場は湿度を50~60度を目安にしています。加湿器は1週間に1度、消毒しています。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	建物内部、フロア内には手すりが設置され、段差のない広い廊下になっています。ご利用様が不自由なく安全に過ごせるようにと心掛けています。自室がわかるようドアの模様をかえたり、ライトアップしたり、わかりやすくしています。		快適で安全に過ごせる様、環境整備を続けていきたいです。自室のベッドの向きも、立ち上がり、歩き出しやすいことを確かめています。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	戸惑いなく個人ができることや役割を持てるよう、日々職員がご利用様の側に寄り添い関わりを持っています。お一人お一人の自尊心に配慮した援助を心掛けています。		今後も自尊心に配慮し、自信の回復に努めていきたいと思います。今出来る事をクリアし、自信につながるように配慮しています。足の低下、腰痛等の方には、座った作業をしていただくよう配慮しています。
87	○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	建物の外回りには鉢植えや畑等を設けています。畑には季節を感じられる野菜や果物を栽培しており、収穫した野菜を食事時に食べています。中庭があり、洗濯物を干しています。		中庭や外周りだけでなく、日々の生活の中で季節を感じられるような楽しみ、空の色や日差しを感じて過ごしています。花の水やり、午前、午後のお茶の時間等、外気に合わせ楽しんでいます。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんど掴んでいない	②
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない	①
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	①
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	②
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	③
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	①
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	①
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	① ほぼ全ての家族 ② 家族の2/3くらい ③ 家族の1/3くらい ④ ほとんどできていない	①
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない	③

